



発行 生駒市環境基本計画推進会議

発行日 2016年6月15日 No.72・73 合併号

連絡先 生駒市環境基本計画推進会議事務局（生駒市役所環境モデル都市推進課内） TEL 0743(25)1135

2016年度総会開催

全6議案可決承認される 4グループに分かれ意見交換

生駒市環境基本計画推進会議

5月22日(日)14時から、コミュニティセンター文化ホールにおいて、生駒市環境基本計画推進会議の通常総会を開催しました。



来賓として小紫雅史生駒市長においでいただき、祝辞をいただきました。

冒頭矢田代表は、「持続可能な社会構築のため、地域で生駒の環境活動に取り組んでいる生駒市環境基本計画推進会議は、10年計画である現行の生駒市環境基本計画の終了にともない、平成31年度からの新たな活動を考える時期にきている。総会後の意見交換会では忌憚のない意見を出してほしい」とあいさつしました。来賓の小紫市長からは、「日ごろの活動に感謝している。ECO-net 生駒は岐路を迎えるが、今後もこれまでの活動をECO-net 生駒主導で続けてほしい。自立をめざすが行政が手を離すことはない。さらなる連携もある。皆さんで議論していただきたい」とあいさつをいただきました。

総会は、正会員108名中出席41名、委任状36名計77名で過半数を満たし会は成立。議長に寺内光男さんを選出し、議事の審議に入りました。全議案賛成多数で可決承認されました。

< 主な発言 >

Q=5号議案について、「緊急を要すること」とは？	A=次回の運営委員会までに決裁を必要とする案件。直後の運営委員会で承認を得る。事務的な案件に限り、今までもおこなっていたことはある。
Q=5号議案について、運営委員は少数。メールや電話で対応できないのか？	A=この条文で対応する案件は定例的及び軽微なものとし、運営委員に了承を得る必要がある場合はメールや電話で確認をするなど、運用上留意を図る。

総会後の意見交換会は4つのテーブルに分かれ、活発に話しあわれました。

<p>Aテーブル</p> <p>◇独立するために</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動できる時間に、活動できることをする。 会員が担えるようにする。 楽しく参加できるようにする。 ECO-netを知ってもらうために、ビジョンを明確にする。 間口を広くし、会員を増やす。 <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 会社としての参加方法に悩む。 運営委員の役割の明確化。 休眠会員、新会員が活動しやすいようにする。 参加しやすい時間がバラバラ。 意見の言いやすい総会を。 事務局機能の活用。 	<p>Cテーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員とサポーター（仮称）の組織を。 ボランティアの自主性、主体性があるかが重要。 年齢の問題より、活力がないように感じる。 部会ごとに分かれて活動し、イベント時は全部会が力をあわせて。 市とECO-netは別組織にして部会ごとに予算を取りに行く。 一度解散し、哲学から考え直す。 実行部隊不足。正会員に拘らない。 <p>やりがいのある活動・楽しい活動 ⇒活動が活発になる</p>
<p>Dテーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ECO-netの自立とはなにか？ 3者の役割はどうあるべきか。 現状でよいのでは？ 市民だけで自立した活動は無理。 活動参加人数を増やすことが先。 組織強化には人数が必要。 楽しい活動⇒参加者増員⇒自立につながる。 	<p>Eテーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象別に活動時間帯を設定する。夜間の企画とか。 広報、回覧版などで地域に知ってもらう。 市といっしょというイメージ。もっと市民のニーズにあった“おもしろい”“楽しい”活動を。 まず知ってもらうことが大切。会員外への広報活動。 子どもと楽しく活動体験。

自然・せいかつ・まちみち・エネルギーの各分野の活動

自然環境分野

5月14日(土)、環境科学博士の谷幸三先生を迎え、いこま水辺の学校を開催しました。参加した子どもと保護者の皆さんといっしょに竜田川や神田川の水生生物を採集し、川に棲む生きものからわかる川のきれいさを調べました。現地では大人も子どもも生きもの採りに熱中。その後、採った生きものの解説など、笑いが絶えない谷先生の講義で楽しく勉強しました。

また、きれいな水に生息するサワガニやニッポンヨコエビがいる生駒の自然の大切さも感じました。

せいかつ環境分野

6月8日(水)、生駒小学校の4年生3クラスで『エコキッズスクール～もったいないをもう一度～』を開催しました。



45分間の授業で、『ろすのん』の話から食べられずに捨てられる食べ物のこと、食べ物を捨てないためにはどうすればいいか、賞味期限・消費期限の話などを紙芝居やクイズを交えながら、子どもたちにわかりやすく説明しました。子どもたちからは活発な

発言があり、先生からは「給食を残す子どもが多いのでよい話だった」と、児童・先生ともに好評の『エコキッズスクール』でした。

エネルギー環境分野

6月10日(金)、市民エネルギー生駒が第3回通常総会を開催。

事業報告では計画を上回る発電実績であること、事業計画では4号機の計画推進などの提案があり、全議案が可決承認されました。



6月26日 北コミュニティセンターで第7回環境フェスティバルを開催

メインテーマ：豊かな自然と歴史と未来が融合するまち いこま

サブテーマ：「もったいないをもう一度」「電力自由化と市民生活」

オープニングセレモニー・グリーンフラッグ認証校披露会は、10時から小ホールでおこないます。以下は主な企画です。

- ・体感コーナー：キエーロ製作講座・ソーラートレイン工作教室・かえっこバザール・つなげて遊ぼうプラレールなど
- ・展示コーナー：グリーンフラッグの活動発表・生駒の生き物写真展・ホテルの人工飼育・エネルギー相談室など
- ・販売コーナー：リユース市・もったいない食器市・環境フリーマーケットなど
- ・飲食コーナー：こだわり弁当・焼き芋・フランクフルト・とんかつサンドイッチなど

お願い！

ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。